

平成27年度全国学力・学習状況調査結果について (地域・保護者用)



平成27年9月作成
遠野市教育委員会

平成27年4月21日に実施された全国学力・学習状況調査の集計結果について、文部科学省から提供されたことから、地域・保護者向けに、その概略的な分析等を公表します。

1 調査の目的（実施要領から抜粋）

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象とする児童生徒

- (1) 小学校調査：小学校第6学年，特別支援学校小学部第6学年
- (2) 中学校調査：中学校第3学年，特別支援学校中学部第3学年



3 調査事項（本体調査）

(1) 児童生徒に対する調査

① 教科に関する調査

小学校調査は、国語・算数・理科，中学校調査は、国語・数学・理科

※ 国語・算数・数学の調査は、「主に知識に関する問題 A」（以下「知識問題」）と「主に活用に関する問題 B」（以下「活用問題」）の両面から基礎・基本の定着状況について行われた。

② 質問紙調査

調査する学年の児童生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施した。

(2) 学校に対する質問紙調査

学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査を実施した。

4 遠野市における公立小中学校の調査対象

(1) 調査学校数

小学校：対象校市内11校全校参加 中学校：対象校市内3校全校参加

(2) 調査人数	小学校	国語A	222人	中学校	国語A	214人
		国語B	222人		国語B	214人
	算数A	222人	数学A	214人		
	算数B	222人	数学B	213人		
	理科	222人	理科	213人		



5 調査実施日

調査の実施日は、平成27年4月21日（火）

6 遠野市の調査結果の概要

【留意点】

※教科に関する調査は、調査問題数や問題の内容が違うことから、過年度の調査結果と単純に比較することはできないものであること。

※本調査問題は、標準化された学力状況を問う問題ではなく、これまでの調査で見られた課題についての改善状況を把握する観点から出題された問題であること。

※地域や家庭との連携により、より教育的効果が図られる点を中心にした分析であること。

※学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てるための分析及び結果の情報提供は、遠野市教育委員会から各学校へ行っているものであること。

※調査結果は、学力の特定の一部であること。

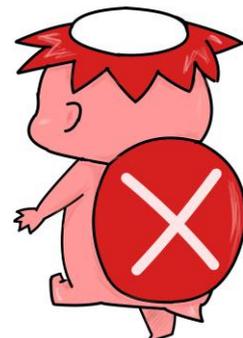
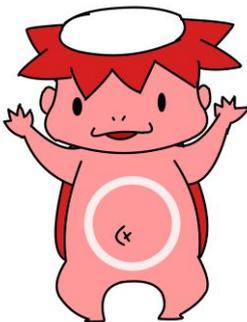
（1）教科に関する調査結果から

① 正答率等の概要

- ・小学校国語 A 問題：概ね全国平均
- ・小学校国語 B 問題：概ね全国平均
- ・小学校算数 A 問題：概ね全国平均
- ・小学校算数 B 問題：全国平均を下回る（H26 は「概ね全国平均」）
- ・小学校理科 問題：概ね全国平均
- ・中学校国語 A 問題：概ね全国平均
- ・中学校国語 B 問題：概ね全国平均
- ・中学校数学 A 問題：全国平均を下回る
- ・中学校数学 B 問題：全国平均を下回る
- ・中学校理科 問題：概ね全国平均



- ※「概ね全国平均」＝全国平均正答率の±5ポイント内
- ※「全国平均を上回る」＝全国平均正答率の+5ポイント以上
- ※「全国平均を下回る」＝全国平均正答率の-5ポイント以上



② 各教科の成果と課題

ア 小学校 国語

A 問題では、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く」や「文の中における主語を捉える」は、よくできています。一方、話すこと・聞くこと領域の「話の内容に対する聞き方を工夫する」、書くこと領域の「具体的な事例を挙げて説明する文章を書く」、読むこと領域の「新聞のコラムを読んで、表現の工夫を捉える」、「登場人物の相互関係を捉える」に課題があります。

B 問題では、書くこと領域の「目的や意図に応じ、新聞の割り付けをする」や※「目的や意図に応じ、取材した内容を整理しながら記事を書く」、書くこと、読むこと領域の関連の「文章と図とを関係付けて、自分の考えを書く」に課題があります。

※ このような学習です。(平成 27 年度授業アイデア例より)



イ 小学校 算数

A 問題では、数と計算領域の「小数の減法について、計算の結果のおよその大きさを捉える」、「末尾の位のそろっていない小数の減法の計算をする」、図形領域の「円の性質から三角形の等辺を捉え、二等辺三角形の性質から底角の大きさを求める」などが課題です。

B 問題では、「単位量当たりの大きさを用いて、目的に応じた買物の仕方を選択し、代金を求める」や※「切り上げた場合の見積りの結果を基に、目標に達しているかについて判断できる」に課題があります。

※ このような学習です。(平成 27 年度授業アイデア例より)

① 見積もる前に目的を明らかにする

教師: ゆうとさんと同じ場面だったら、みなさんは、どのようなことが気になりますか。

ゆうとさんは、1400円を持って夕食の買物にきています。

買ってくるもの
 ・たまねぎ → 386円
 ・とまと → 292円
 ・にんじん → 247円
 ・肉 → 395円

実際の代金がいくらになるか気になります。

だいたいいくらになるか気になります。

支払いのときに足りない困るので、1400円で足りるか気になります。

1000円以上で福引券がもらえるので、1000円以上か気になります。

正確に計算しなくても、見積りで確かめることができるものがありそうですね。

ポイント 見積りの目的を明らかにするために、買物の場面における児童の興味・関心や日常の経験を引き出すようにしましょう。

オ 小学校 理科

「物質・エネルギー」に関する問題では、「振り子時計の調整の仕方を調べるための実験について、条件を制御しながら構想できる」、「熱膨張が小さい金属について、グラフを基に考察して分析した内容を記述できる」、「電磁石の働きを利用したり振り子について、試行した結果を基に自分の考えを改善できる」、「メスシリンダーで一定量の水をはかり取る適切な扱い方を身に付けている」、※「析出する砂糖の量について分析するために、グラフを基に考察し、その内容を記述できる」に課題があります。

「生命・地球」に関する問題では、「メダカの雌雄を見分ける方法を理解している」、「顕微鏡の名称を理解している」、「水が水蒸気になる現象について、科学的な言葉や概念を理解している」は、よくできています。一方、「生物の成長に必要な養分のとり方について、調べた結果を視点をもって考察して分析できる」、「顕微鏡の適切な操作方法を身に付けている」、「植物の適した栽培場所について、成長の様子と日光の当たり方を適用して、その内容を記述できる」、「星座の動きを捉えるための適切な記録方法を身に付けている」、「星座や雲の動きについて、観察記録を基に考察して分析できる」、「打ち水の効果について、グラフを基に地面の様子と気温の変化を関係づけながら考察して分析できる」に課題があります。

※ このような学習です。(平成 27 年度授業アイデア例より)

3 (体験活動Ⅱ) 観察・実験 (3・4/8)
 水の量や温度を変えて水に溶ける食塩やミョウバンの量を調べる。

4 (言語活動Ⅱ) 結果の整理、考察、見方や考え方 (5/8)
 水の量や温度と水に溶ける食塩やミョウバンの量とを関係付けてまとめる。

5 (言語・体験活動Ⅲ) 活用関連 (6・7・8/8)
 水の温度が下がったときに出てくるミョウバンの量について調べる。

結果 60℃のとき → 40℃のとき → 20℃のとき

考察 23g と 5g

予想 20℃の水にはミョウバンがまだとけていると思うな。

実験 ・ビーカーの中に残っている物をろ過する。
 ・ろ液を蒸発皿で蒸発させてミョウバンが出てくるかを見る。

結果 蒸発させるとミョウバンが出てきました。ミョウバンはまだとけていたことがわかりました。

考察 冷やすとその温度でとけきれなくなったミョウバンが出てくると思います。ミョウバンがどのくらい出てくるかは、60℃のときのとける量から20℃のときのとける量を引くすればよいと考えられます。

見方や考え方 冷やして出てくるミョウバンは、温度が下がることで溶けきれなくなったミョウバンで、その量は、冷やす前に溶けていたミョウバンの量と冷やした後に溶けているミョウバンの量の差になる。

グラフ: (水50mLの温度とミョウバンのとける量)
 縦軸: 量(g) 0, 10, 20, 30
 横軸: 水の温度(℃) 20, 40, 60
 60℃: 28g (赤色)
 40℃: 23g (緑色)
 20℃: 5g (青色)

40℃のときにはグラフの緑色の分だけのミョウバンが出てきたと思います。

水に入れる前の23gのミョウバンとほとんど同じ量が出てきたので、グラフの赤色の分だけミョウバンが出てきたと思います。

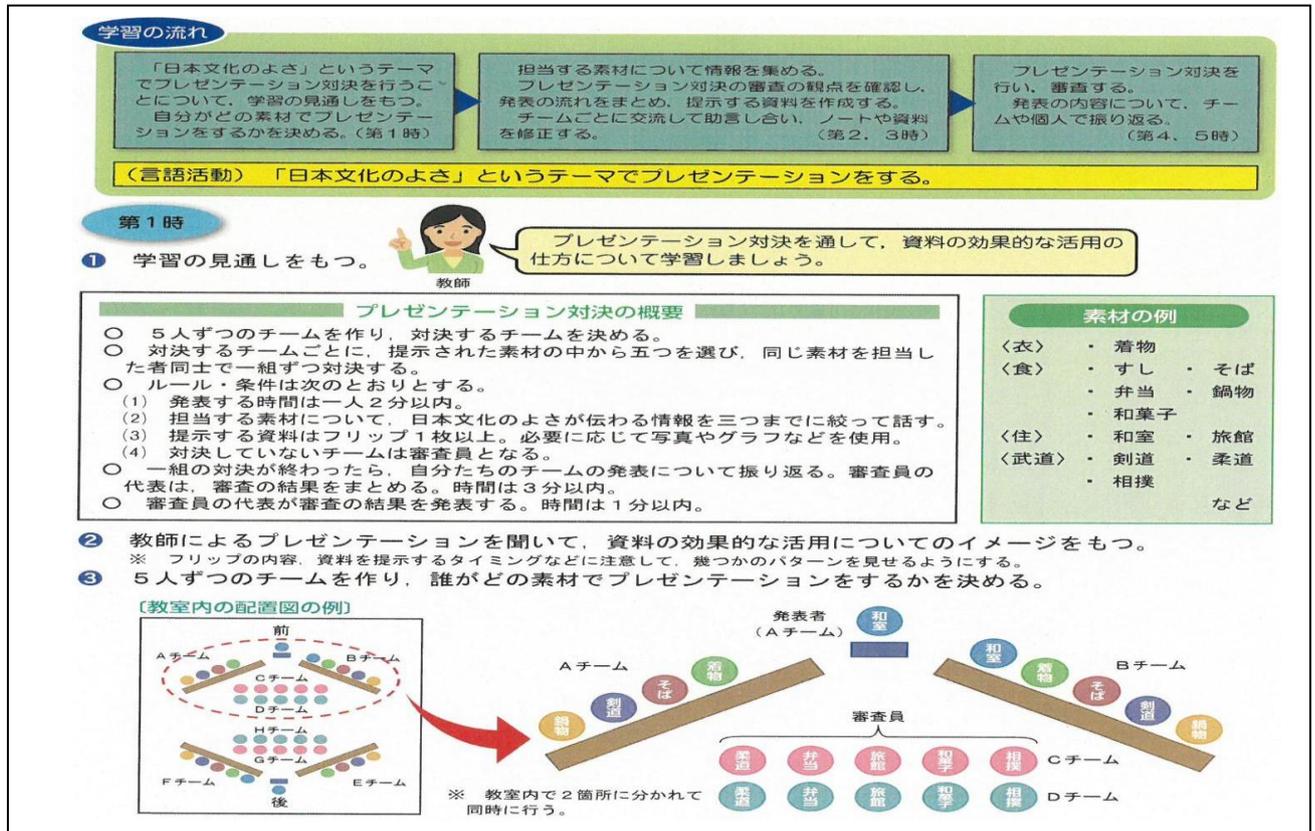
こんなにでてきたということは5gではなかったということになります。

ウ 中学校 国語

A問題では、話すこと・聞くこと領域の「聞き手を意識し、分かりやすい語句を選択して話す」や「必要に応じて質問しながら聞き取る」、書くこと領域の「意見を支える根拠の明確さについて助言する」や「書いた文章を読み直し、語句の選び方や使い方を工夫して書く」、「手紙の書き方を理解して書く」、読むこと領域の「登場人物の心情や行動に注意して読み、内容を理解する」、「目的に応じて要旨を捉える」、「表現の特徴を捉える」、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項の「表現の技法について理解する」、「文脈に即して漢字を正しく書く」、「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う」、「単語の類別について理解する」、「漫画の内容を参考にして、登場人物の思いやものの見方を想像する」、「代表的な古典の作品に関心をもつ」に課題があります。

B問題では、話すこと・聞くこと領域の※「効果的な資料を作成し、活用して話す」、話すこと・聞くことと書くこととの関連領域の「資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く」、読むこと領域の「目的に応じて文章を要約する」や「文章の中心的な部分と付加的な部分などを読み分け、要旨を捉える」に課題があります。

※ このような学習です。(平成27年度授業アイデア例より)



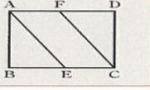
エ 中学校 数学

A問題では、数と式領域の「正負の数の四則計算」、「1次式の減法」、「数量関係の文字式での表現」、「等式の変形」、「方程式に関する問題」などに課題があります。図形領域では、「垂線の作図の根拠」、「平行移動した図形」、「投影図を基にした空間図形の読み取り」、「多角形の内角の和の性質」、「三角形の合同条件の理解」、「平行四辺形になるための条件の理解」などに課題があります。関数領域では、「比例の式と座標」、「比例のグラフと変域」などに課題があります。

B問題では、「与えられた情報から必要な情報を選択し、的確に処理する」、「事柄が成り立つ理由を、構想を立てて説明する」、※「証明を振り返り、新たな性質を見出す」、「発展的に考え、条件を変えた場合について証明する」などに課題があります。

※ このような学習です。(平成 27 年度授業アイデア例より)

問題 正方形ABCDの辺BC, DA上に, BE=DFとなる点E, Fをそれぞれとります。このとき, AE=CFとなることを証明しなさい。



< 1 時間目 >
1. AE=CFとなることを証明する。

教師: AE=CFとなることを証明するには, どのようなことに着目すればいいですか。

生徒1: 2つの合同な三角形を探せばいいと思います。

生徒2: 四角形AECFが平行四辺形になることを示せばいいと思います。

生徒3: AE=CFを証明するには, △ABEと△CDFが合同であることを示せばよいと思います。

生徒4: 仮定や正方形の性質を使えば, 2つの三角形が合同だと示せそうです。

教師: 三角形の合同条件や平行四辺形になるための条件を用いて, AE=CFとなることを証明してみましょう。

生徒5: 2つの三角形の合同を利用すると, AE=CFとなることが証明できました!

< 2 時間目 >
2. 証明を振り返り, 結論を導くために欠かせない条件や性質を捉える。

教師: 桃子さんの証明を振り返ってみましょう。桃子さんは何に着目して証明していますか。

桃子さん: △ABEと△CDFが合同であることに着目して証明しています。

教師: この証明で用いられている三角形の合同条件と式を対応付けてみましょう。

桃子さんの証明

△ABEと△CDFにおいて,
仮定より, $BE=DF$ ①
正方形の辺はすべて等しいから,
 $AB=CD$ ②
正方形の角はすべて直角で等しいから,
 $\angle ABE=\angle CDF=90^\circ$ ③
①, ②, ③より,
2組の辺とその間の角がそれぞれ等しいから,
 $\triangle ABE \cong \triangle CDF$
合同な図形の対応する辺は等しいから,
 $AE=CF$

< 三角形の合同条件 >
2組の辺とその間の角がそれぞれ等しい
2組の辺 $BE=DF$
 $AB=CD$
その間の角 $\angle ABE=\angle CDF=90^\circ$

力 中学校 理科

第1分野(物理的領域・科学的領域)の問題では, ※「特定の質量パーセント濃度の水溶液の溶質と水のそれぞれの質量を求めることができる」, 「実験の結果を分析して解釈し, 炭酸水素ナトリウムを溶かした方の試験管を指摘することができる」, 「二酸化炭素の体積を量る場面において, 水上置換法では正確に量れない理由を説明することができる」などに課題があります。

第2分野(生物的領域・地学的領域)の問題では, 概ねできています。しかし, 「平均値を求める場面において, 平均値を求める理由を説明することができる」や「他者の考察を検討して改善し, 課題に対して適切な(課題に正対した)考察を記述することができる」などに課題があります。

※ このような学習です。(平成 24 年度授業アイデア例より)

学習の流れ

水溶液の濃度を質量パーセント濃度で表す。(第1時)

「飽和食塩水の質量パーセント濃度を調べる」(第2時)
①飽和食塩水をつくり, その質量パーセント濃度を計算する。
②食塩水の濃度に関する他者の考えに対して, 科学的な根拠を踏まえて説明する。
③身近な飲み物に質量パーセント濃度を利用する。

飽和食塩水の質量パーセント濃度はいくらだろう。(第2時)

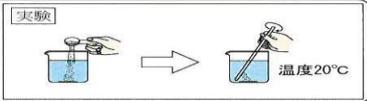
1. 飽和食塩水の質量パーセント濃度を予想する。

教師: 飽和食塩水の質量パーセント濃度はどうなると思いますか。

生徒: もうそれ以上溶けなくなるのが飽和だから100%になると思います。

教師: それでは飽和食塩水をつくってみましょう。水100gに食塩を少しずつ溶かして, 飽和したときの食塩の質量を調べてみましょう。

実験



温度20°C

2. 実験結果を基に, 質量パーセント濃度を計算する。

教師: 実験から, 水100gに食塩35gを溶かしたら飽和食塩水になることが分かりましたね。水100gに物質を溶かして飽和水溶液にしたときの, 溶けた物質の質量を「溶解度」といいます。飽和食塩水の質量パーセント濃度を計算してみましょう。

(2) 児童・生徒質問紙調査結果から

① 概要

小学校、中学校共に全国の肯定的回答を上回った項目は、66項目中49項目ありました(下記②参照)。家族や地域の一員として生活し、学校へも楽しく通う、優しさあふれる小・中学生であることが分かります。

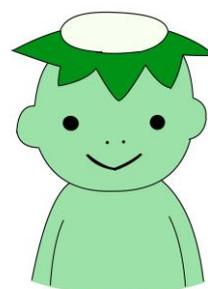
校種別に見ると、小学生の読書に関しては、「読書が好き」という肯定的回答が全国よりも多く、「全く読書をしない」という回答も全国よりも少ない状況です。しかし、中学生になると、逆転してしまいます。(下記③参照)

小学生の学習面においては、国語や算数、理科の勉強が将来社会に出たときに役立つものであり、大切だと思っている児童が全国に比べて多い状況です。また、国語の授業、算数の授業、理科の授業が「分かる」と回答している児童は全国を上回っています。家庭で過ごす時間の使い方においては、普段の家庭学習の時間については、2時間以上学習している児童が、全国で約26%ですが、遠野の児童は10%程度です。 普段のテレビ等の視聴時間については、2時間以上の生徒が全国では約59%ですが、遠野の児童は約64%で、全国よりやや多い状況にあります。(下記④参照)しかし、昨年度に比べると、遠野の児童は約8ポイント減少しており、改善傾向が見られます。また、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用時間については、1時間以上使用している児童が、全国では約17%ですが、遠野の児童は約19%で、携帯電話等を使用している児童は少ないものの、使用時間は全国よりやや多い状況にあります。(下記④参照)

遠野の小学生の良さが全国と比較して顕著に表れた項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った生活面、ものの見方・考え方、行動に関する項目)は、「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」、「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」、「地域の行事への参加」、そして、昨年度全国と比較して5ポイント以上上回った項目の「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることができる」などです。(下記②④参照)

中学生の学習面においては、小学生同様、国語や数学、理科の勉強が大切だと思っている生徒が全国に比べて多い状況です。しかし、数学の授業が「分かる」と回答している生徒は、全国に比べて下回ります。家庭で過ごす時間の使い方においては、普段の家庭学習の時間については、2時間以上学習している生徒が全国で約35%ですが、遠野市の生徒は18%程度です。(下記④参照)遠野の中学生は、全国に比べて家庭学習の習慣が身につけていますが、取組の時間は短い傾向にあります。普段のテレビ等の視聴時間については、3時間以上の生徒が全国では約31%ですが、遠野市の生徒は約34%で、全国よりやや多い状況にあります。(下記④参照)しかし、昨年度に比べると、遠野の生徒は約5ポイント減少しており、改善傾向が見られます。また、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットの使用時間については、2時間以上使用している生徒が、全国では約31%ですが、遠野市の生徒は約33%で、やや多い状況にあります。(下記④参照)

遠野の中学生の良さが全国と比較して顕著に表れた項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った生活面、ものの見方・考え方、行動に関する項目)は、「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」、「今住んでいる地域の行事に参加している」など、合計8項目です(下記②④参照)。また、全国と比較して今後考えていきたいと思われる項目(「当てはまる」等の回答が、全国を5ポイント以上上回った項目)は、「家で、学校の授業の予習をしている」です。



② 小学校・中学校共に全国の肯定的回答を上回った項目



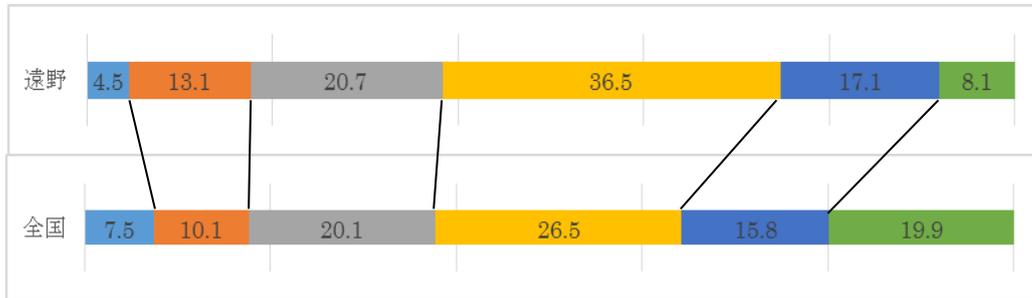
★ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
★ 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。
★ ものごとをさいごまでやり遂げてうれしかったことがありますか。
★ 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか。
★ 友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。
★ 家の人（兄弟姉妹除く）と学校での出来事について話をしていますか。
★ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
★ 家で、学校の授業の復習をしていますか。
★ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。
★ 今住んでいる地域の行事に参加していますか。
★ 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。
★ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。
★ 学校のきまりを守っていますか。
★ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。
★ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。
★ 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。
★ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
★ 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、児童生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動をしたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
★ 前学年までに受けた授業では、ノートに学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていたと思いますか。
★ 児童生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
★ 国語の勉強は好きですか。
★ 国語の勉強は大切だと思いますか。
★ 国語の授業はよく分かりますか。
★ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
★ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか。
★ 国語の授業で意見発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか。
★ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。
★ 国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいますか。
★ 算数（数学）の勉強は大切だと思いますか。
★ 算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。
★ 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
★ 算数（数学）の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。
★ 算数（数学）の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。
★ 算数（数学）の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか。
★ 理科の勉強は好きですか。
★ 理科の授業の内容はよく分かりますか。
★ 自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか。
★ 理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか。
★ 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。
★ 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか。
★ 理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか。
★ 観察や実験を行うことは好きですか。
★ 理科の授業で、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか。
★ 理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか。
★ 理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかをふり返って考えていますか。

③ 読書の状況

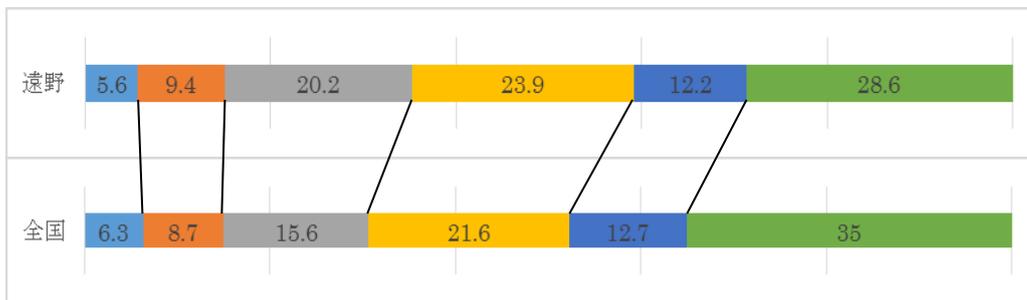
家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）

※ 2時間～ 1時間～ 30分～ 10分～ ～10分 全くしない

ア 小学校



イ 中学校



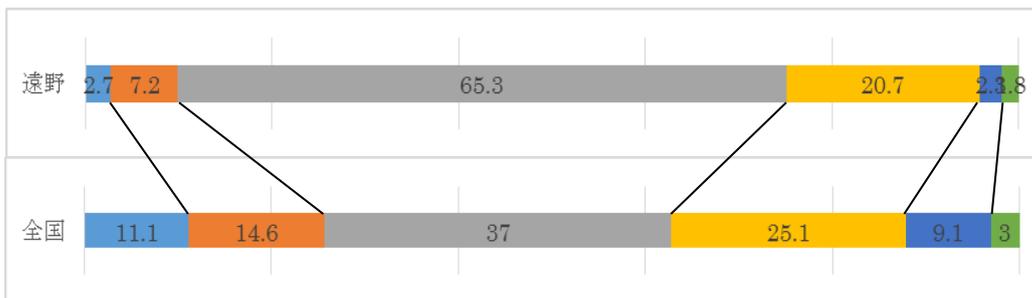
④ 校種別主な項目の状況

ア 小学校

◆ 学習に関する項目

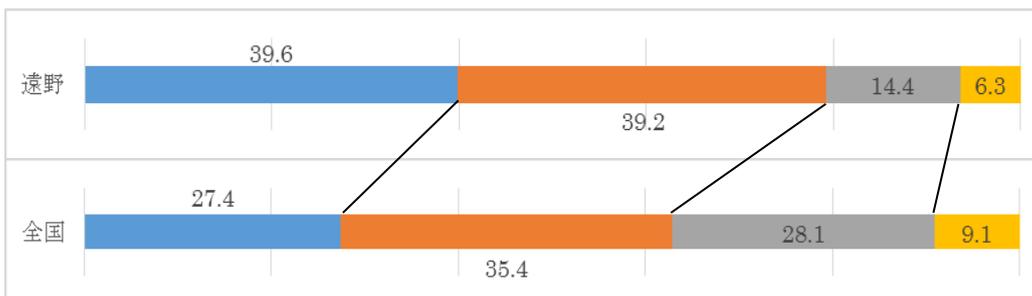
i 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強を読みますか（学習塾や家庭教師含む）

※ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ 30分未満 全くしない



ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※ している どちらかといえば、している あまりしていない 全くしていない



iii 国語の勉強は大切だと思いますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	96.9%	全国	92.0%
-----	-------	----	-------

iv 国語の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	88.9%	全国	82.0%
-----	-------	----	-------

v 算数の勉強は大切だと思いますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	96.4%	全国	92.1%
-----	-------	----	-------

vi 算数の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	86.0%	全国	81.0%
-----	-------	----	-------

vii 家で、学校の宿題をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	96.4%	全国	96.8%
-----	-------	----	-------

viii 家で、学校の授業の予習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

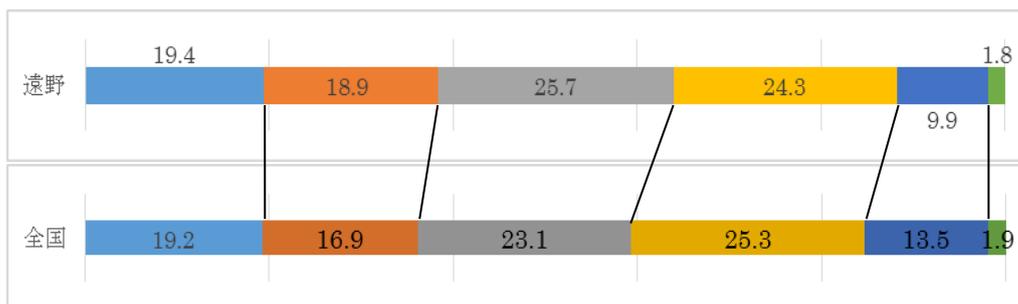
遠野市	45.5%	全国	43.4%
-----	-------	----	-------

ix 家で、学校の授業の復習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	75.2%	全国	54.5%
-----	-------	----	-------

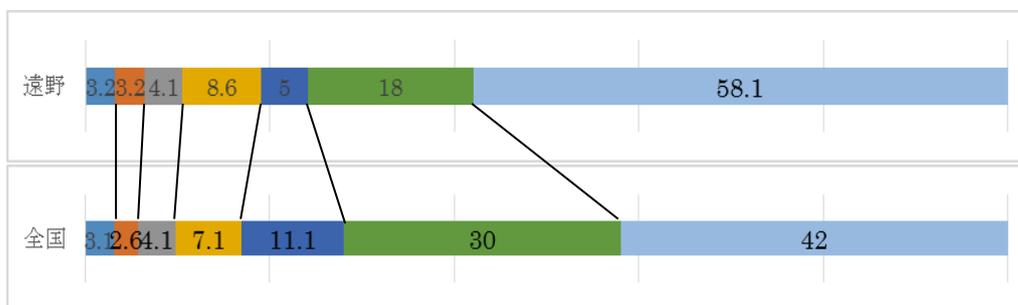
x 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ ～1時間 全くしない



xi 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートファンで通話やメール、インターネットをしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ ～30分 持っていない



◆ 遠野市の子どもたちの良さが特に表れている項目

※「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」等、肯定的回答の割合が全国比5ポイント以上上回っている項目)

i 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。

遠野市	87.4%	全国	79.5%
-----	-------	----	-------

ii 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

遠野市	89.3%	全国	79.5%
-----	-------	----	-------

iii 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことはありますか。

遠野市	94.1%	全国	86.1%
-----	-------	----	-------

iv 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

遠野市	85.1%	全国	66.9%
-----	-------	----	-------

v 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。

遠野市	72.1%	全国	63.9%
-----	-------	----	-------

※ その他に、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の項目も5ポイント以上上回っています。

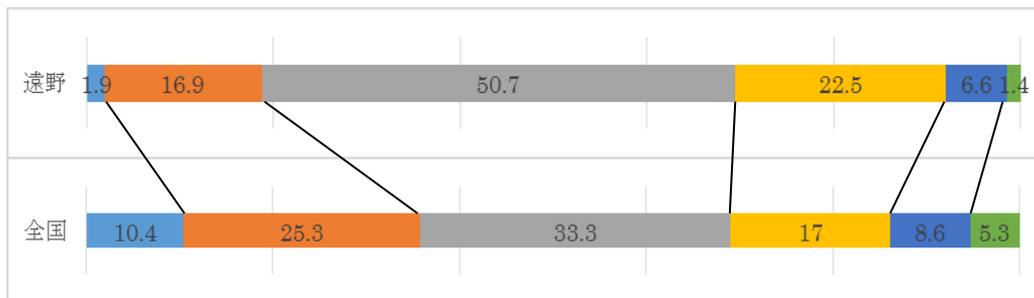


イ 中学校

◆ 学習に関する項目

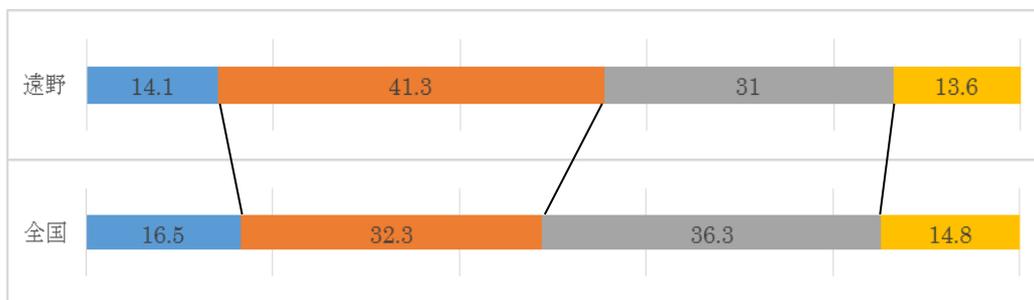
i 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師含む）

※ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ 30分未満 全くしない



ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

※ している どちらかといえば、している あまりしていない 全くしていない



iii 国語の勉強は大切だと思いますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	97.2%	全国	89.9%
-----	-------	----	-------

iv 国語の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	78.8%	全国	74.3%
-----	-------	----	-------

v 数学の勉強は大切だと思いますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	85.9%	全国	82.6%
-----	-------	----	-------

vi 数学の授業の内容はよく分かりますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	57.7%	全国	71.6%
-----	-------	----	-------

vii 家で、学校の宿題をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	94.3%	全国	89.3%
-----	-------	----	-------

viii 家で、学校の授業の予習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

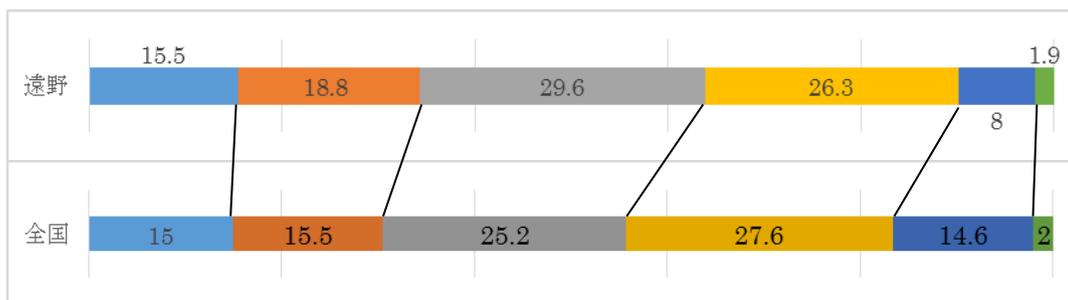
遠野市	25.4%	全国	35.3%
-----	-------	----	-------

ix 家で、学校の授業の復習をしていますか。(当てはまる・どちらかといえば、当てはまる)

遠野市	61.0%	全国	52.0%
-----	-------	----	-------

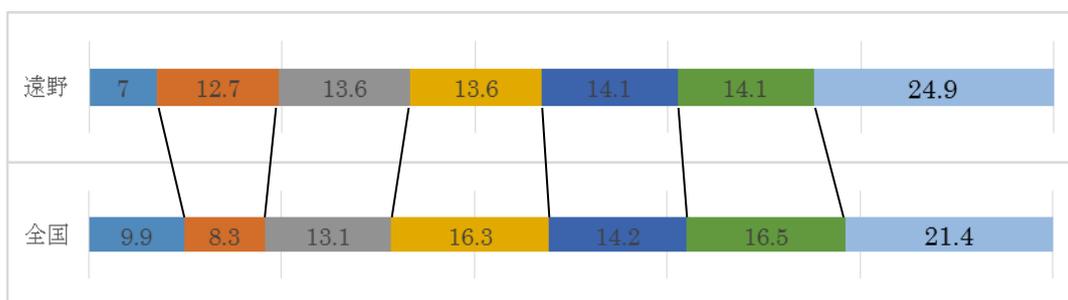
x 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ ～1時間 全くしない



xi 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。

※ 4時間～ 3時間～ 2時間～ 1時間～ 30分～ ～30分 持っていない



◆ 遠野市の子もたちの良さが特に表れている項目

※「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」等、肯定的回答の割合が全国比5ポイント以上上回っている項目)

i 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか。

遠野市	82.2%	全国	73.7%
-----	-------	----	-------

ii 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。

遠野市	55.4%	全国	48.8%
-----	-------	----	-------

iii 今住んでいる地域の行事に参加していますか。

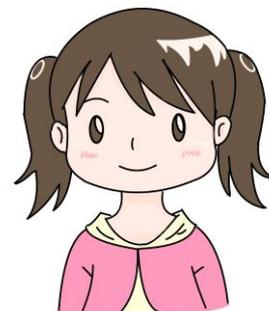
遠野市	82.6%	全国	44.8%
-----	-------	----	-------

iv 地域や社会で起こっている問題や出来事に興味がありますか。

遠野市	74.6%	全国	55.9%
-----	-------	----	-------

v 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

遠野市	48.8%	全国	32.9%
-----	-------	----	-------



7 改善に向けて

遠野市の学校教育目標である「知・徳・体のバランスのとれた人間形成～ふるさと遠野や日本，世界の発展に貢献する人材の育成～」に向けて，今回の調査により，学校，家庭，地域の努力により「徳」については，十分な成果をあげているととらえています。課題は，数学の結果から分かつとおり学習面です。積み重ねが大切であるとされている教科に課題があることから，小学校から中学校までの義務教育9年間での系統的，継続的な学習の取組が今後も重要であるととらえています。

以上のことから，下記の点に取り組んでいきます。

(1) 遠野市教育委員会では

- ・中学校区ごと，小中共通の課題に基づく授業実践（3年目の取組）
（学力向上対策会議，学力向上研究員部会，遠野市研究所発表会）
- ・各校への指導主事等による指導・助言
- ・学校公開研究会
- ・指導力向上のための各種研修会等の実施

(2) 各学校では

- ・結果の分析
- ・年度内での補習
- ・授業改善（中学校区の研究，校内研究，一人一授業等）
- ・「まなびフェスト」等での家庭との連携の取組



8 各家庭・地域の皆さんへ

家庭や地域の中で，健全に成長している姿が調査の結果から伺えます。今後も，学校と連携し，子どもたちの健やかな成長のためにご努力をお願いします。

生活面では，テレビの視聴時間及び携帯電話やスマートフォンで通話やメール，インターネットを使用する時間が長い傾向があります。家庭内での生活について子どもと話し合ってみてください。同時に，家庭学習の時間についても話し合い，家庭学習時間の約束を子どもに決めさせてください。学習に対して前向きな気持ちが見受けられますので，その思いを行動につなげられるよう支援をお願いします。